

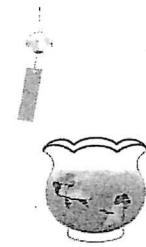
図書だより

石川県立松任高等学校図書室
平成26(2014)年7月発行

蓮開始 (はす はじめて はなさく)

7月に入って急に暑くなってきました。そして、この時期に凛とした涼やかな花を咲かせるのが蓮です。水面に浮いたように咲いている様子を連想する人も多いと思いますがそれは睡蓮で、蓮は水の上に長く伸びた茎の先に花をつけます。

間もなく夏休み。アウトドアで汗を流した後は、涼しい部屋で読書を楽しんでみませんか。



★★★ 夏休みの特別貸出を始めます！ ★★★

14日（月）から8月1日（金）までの間、通常1人3冊までの貸出が、5冊にアップする夏休み特別貸出を行います。返却日は夏休み明けの9月1日（月）までです。本を読む時間がなかなかとれないという人も本はちょっと苦手という人も、じっくり腰を落ち着けて本に親しめだと思います。

“自分だけの1冊”に出会えるかもしれません。この機会をぜひ活用してください。

新着図書入荷のお知らせ&オススメ本

今年度最初の新着図書が入りました。夏休み中の読書や読書感想文などにいかがですか。

またまた勢いは止まらない！

池井戸 潤の作品

『ルーズヴェルト・ゲーム』
『銀行総務特命』、『不祥事』

読むとお腹が空いてくる

『3年7組食物調理科』
『和菓子のアンソロジー』
『本当に旨いサンドイッチの作り方100』



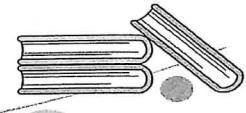
14年 本屋大賞バネト作品

『昨夜のカレー、明日のパン』
『さようなら、オレンジ』
『ランチのアッコちゃん』
『教場』、『想像ラジオ』
『聖なる急け者の冒険』
『去年の冬、きみと別れ』

人生は挑戦（チャレンジ）だ
『わたしはマララ』
『ナウシカの飛行具、作ってみた』

第60回 青少年読書感想文全国コンクール

課題図書 <高等学校の部>



『アヴェ・マリアのヴァイオリン』 香川宣子／著 KADOKAWA

アウシュピツの生存者・ハンナが残したアヴェ・マリア・ヴァイオリン。アウシュピツ、板東俘虜収容所、21世紀の日本を舞台に、時代に翻弄された一丁のヴァイオリンの物語。

『路上のストライカー』 マイケル・ウィリアムズ／著 岩波書店

母国シンハラエでの虐殺を生きのびたティオは、兄と共に南アフリカ共和国を目指す。なんとかたどりついたものの、そこで容赦ない外国人への憎悪にさらされる。サッカーに情熱を注ぎ、悲惨な現実を乗り越えようとする少年の姿を描く。

『生命とは何だろう?』 長沼 毅／著 集英社インターナショナル

地球上に“生命”が誕生してから38億年。「人類はどこからきて、どこへ行くのか」という本源的な問いに答えるために、生物学者である著者は生命の起源をさかのぼり、生物の進化の歴史をたどるなかで人類の可能性を論じる。

読書感想文 書き方のポイント

何をどう書けばいいのか分からぬ！という人に多いのが、あらすじを最初から最後まで書いてしまう、というもの。

まず、本を読みながら印象に残った場面や言葉、感じたこと、連想したことなどを全部メモすることをおすすめします。読み終えてから「なぜ自分はそこでメモを取ったのか」を考え整理することで書きたいことが明確になってきます。

読書感想文の中で読んだ本の文章や言葉を引用したことがある人いると思います。読書感想文は本を読んで、自分の思いや心の動きを中心に書くものなので、できるだけ自分のことばで書くようにしてください。それでも文章の流れから引用する必要があるときは最低限の部分だけにして必ず「」（カギカッコ）でくくりましょう。